

リーディングDXスクール事業【実践事例】

田辺市立中辺路中学校（和歌山県）

【取組内容④】 ICT活用により、校務の効率化に成功

職朝記事を紙から
【Google Classroom】に
クラウド化する**取組内容**

■毎朝プリントアウトして職員室机上に配っていたのを「Google Classroom」で共有した。

成果

- ☆教師がタブレットを教室に持って行くことで、同じ内容を生徒に伝えることができる
 - ☆リアルタイムで修正・変更・追加・更新ができる
 - ☆誰でも書き込める
 - ☆紙が削減でき、印刷や配布の手間が省ける
 - ☆「スプレッドシート」や「Google Forms」を貼りつけることができる
- 次のステップ(次年度に向けて)**
※「カレンダー」で予定管理

職員会議資料を
紙から共有ファイルに
データ化する**取組の成果**

■職員会議の資料を、今年度は紙とデータの両方を使用。（紙をなくし、すべてデータ化したい）

成果

- ☆原稿の締切を設定しなくていい
 - ☆紙が削減できる
 - ☆原稿のページ打ちをしなくていい
 - ☆印刷しなくてもいい
 - ☆紙とじしなくてもいい
 - ☆配布しなくてもいい
- 次のステップ(次年度に向けて)**
※「Google Classroom」を利用することでPDF保存したファイルは1度を開くことができる

職員間での連絡を
【Google チャット】で
情報共有する**取組の成果**

■メモや付箋を使うのではなく、チャットを使って情報の伝達や共有を行った

成果

- ☆紙や付箋が削減できる
 - ☆PDFなどで情報量の多いものも使える
 - ☆返事もできる
 - ☆未読の時でも他の人が声をかけて教えてくれる
 - ☆個人向けだけでなく、全員に情報発信することができる
- 次のステップ(次年度に向けて)**
※非常勤の先生やスクールカウンセラーなど常勤でない職員との情報共有に使えるようにする